

Title	業務改革とIT改革の戦略的融合に関する考察
Sub Title	
Author	磯部, 雄一(Isobe, Yuuichi) 柳原, 一夫
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2004
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2004年度経営学 第1929号 連絡が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002004-1929

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文要旨

所属ゼミ	柳原研究会	学籍番号	80328106	氏名	磯部 雄一
(論文題名)					
『 業務改革とIT改革の戦略的融合に関する考察 』					
(内容の要旨)					
<p>日本企業のIT投資は再び活発化しているが、多くの場合「効果が出ていない」という本質的な問題を抱えている。この問題に対して、様々な方面から研究や提言が以前から行われているが、いまだ解消していない。</p> <p>そこで、本研究では一般的に指摘されているITマネジメント成功要素を整理して、経営的に成功している企業のITマネジメント方策から検証するとともに、より実践的な成功要素を導き出すことを目的として事例研究を実施した。</p> <p>その結果、一般的に指摘されている「経営戦略とIT戦略の戦略的整合性」、「組織体制（役割分担とコミュニケーション）」、「投資管理」、「導入・運用・管理方針」、「技術方針」の五分野における成功要素に、適合するものと、そうでないものが明らかとなった。</p> <p>そこから、IT投資の成功には、「真の目的を見据えたIT計画と活動の重要性」、「五分野の成功要因の連携」、「徹底する仕組み」、「業務とITが連動した持続的な改革の重要性」が示唆された。</p> <p>そして、ITは経営目標の達成のために使用されるツールであるという原点に戻り、関係者全員がITの本質を見つめ、地に足をつけた検討と徹底した活用、そして持続的な改革を行っていくことの重要性が確認できた。</p> <p>また、研究の過程で「メーカーと金融・サービス業のIT投資成功要因の相違点」や「ユーザー部門間のコミュニケーションギャップによるIT投資失敗」など、新たな課題も確認されている。</p>					